

デイサービスM I L K新 運営推進会議報告書 (第12回)

日 時 令和5年3月15日(水) 15時30分～16時30分
 場 所 M I L K新 地域交流スペース
 出席者

利用者代表	0人	有識者	1人
利用者家族	0人	高齢者あんしん支援センター職員	1人
地域住民の代表	2人	出雲市高齢者福祉課職員	1人
その他(施設長・施設職員)			1人

あいさつ
 議題

1) サービスのご利用者状況 (R5.2月末現在)

①利用人数：120名(男性44名(36.7%) 女性76名(63.3%) 午前61名・午後62名、うち両方3名)
 ※参考 R4.2.28時点の登録者数：125名(男性51名(40.8%)・女性74名(59.2%))
 ※昨年と比較すると、利用者人数が5人減少しています。

②介護度別人数(介護度未定者：0名) ※【 】は昨年2月末人数(介護度未定者：0名)
 ※介護1が34名(28%)、支援2が32名(27%)と人数が多い状況です。
 ※昨年と比較して事業対象者の人数が6名増(ポイント5.4)となっています。

事業対象者	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	計
18名	19名	32名	34名	14名	3名	0名	0名	120名
【12名】	【21名】	【35名】	【38名】	【14名】	【5名】	【0名】	【0名】	【125名】
15%	16%	27%	28%	12%	3%	0%	0%	100.0%

③総合事業：69名(57.5%)、介護：51名(42.5%)、未定0名(0%)
 ※昨年と比較して、総合事業の対象者(事業対象者・支援1・2)は1名増加しています。

④曜日別利用者数 (R5.2月末現在)

	月	火	水	木	金	土
午前	18	15	17	17+1	18	15+1
午後	11+2	15+2	17	16+1	15	9

※定員の18人に達している曜日は午前は、月・金曜日のみ。午後はどの曜日にも達していません。
 ※土曜日の午後は9人と定員の半分しか利用されていません。
 ※定員18人に対して利用できる総人数から計算しますと、あと26人が利用可能人数となります。

⑤地区別利用者状況 (R5.2.28現在)

	旧出雲	旧平田	荘原	出西	伊波野	直江	久木	出東	地区計
男性	6名	5名	7名	5名	6名	9名	4名	2名	44名
女性	6名	3名	23名	13名	11名	13名	4名	3名	76名
合計	12名	8名	30名	18名	17名	22名	8名	5名	120名
(%)	10.0%	6.7%	25.0%	15.0%	14.2%	18.3%	6.7%	4.2%	100%

※地区別では旧斐川が100名の83.3%を占め、旧出雲12名の10.0%、旧平田8名の6.7%となっている。

※旧斐川では、事業所所在地の荘原地区が 30 名 (25.0%) と最も多く、次いで直江 22 名 (18.3%)、出西 18 名 (15.0%)、伊波野 17 名 (14.2%)、となっています。
 ※旧斐川の中で、旧平田地域に近い久木 (8 名)、出東 (5 名) と、この 2 つの地域を合わせても 13 名 (10.9%) と利用者は少ない状況にあります。

⑥R4.3月～R5.2月の新規者総数：34名（男性14名・女性20名）

月	R4.3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5.1	2月	計
男性	0名	1名	0名	2名	1名	0名	3名	1名	1名	1名	1名	3名	14名
女性	3名	1名	1名	2名	2名	1名	0名	1名	4名	1名	2名	2名	20名
合計	3名	2名	1名	4名	3名	1名	3名	2名	5名	2名	3名	5名	34名

※毎月、新規の利用者があっています。11月～2月は総数15名の新規利用者となっています。
 ※男性14名に対して女性は20名と女性の利用者数が多い状況です。

⑦R4.3月～R5.2月の終了者総数：39名（男性21名・女性18名）

月	R4.3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5.1	2月	計
男性	2名	3名	2名	3名	3名	1名	1名	3名	1名	0名	1名	1名	21名
女性	0名	1名	3名	0名	2名	2名	1名	2名	2名	3名	0名	2名	18名
合計	2名	4名	5名	3名	5名	3名	2名	5名	3名	3名	1名	3名	39名

※毎月、終了される利用者があります。11月～2月は総数10名の方が利用終了となっています。
 ※終了理由：39名
 （死亡3名、長期入院6名、体調不良7名、施設入所5名、老健施設8名、他のデイ6名、その他4名）

⑧平均年齢（2022/2/28現在）

※利用者120人での平均年齢は83.30歳（男性44人：82.34歳、女性76人：83.87歳）
 ※102歳の女性1名が最高齢。62歳の男性の方が最年少の利用者です。
 昨年同時期には54歳の女性1名が利用されていましたが今はおられません。
 ※80歳代が68人（56.6%）、90歳代23人（19.2%）となっています。

区分	50歳～	60歳～	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85～89歳	90～94歳	95歳以上	合計
男性	0人 00.00歳	4人 65.75歳	9人 72.67歳	0人 00.00歳	8人 82.38歳	14人 86.43歳	7人 91.71歳	2人 97.50歳	44人 82.34歳
女性	0人 00.00歳	4人 67.75歳	6人 72.17歳	6人 77.33歳	17人 82.05歳	29人 86.90歳	12人 91.25歳	2人 98.00歳	76人 83.87歳
合計	0人 00.00歳	8人 66.75歳	15人 72.46歳	6人 77.33歳	25人 82.21歳	43人 86.74歳	19人 91.42歳	4人 97.75歳	120人 83.30歳

⑨紹介事業所数：23事業所

（有識者様より）

意見：出東・久木の利用者が少ない理由は？

回答：詳しくは分析しておりませんが、こちらは運動に特化していますので、体を動かしたい方が利用されています。また、半日ということもあり1日の長時間を希望される方や入浴希望の方は他の施設を利用されていると思います。

(高齢者あんしん支援センター様より)

意見：阿宮地区の方は利用されていますか？

回答：以前はおられました但现在は利用されていません。

意見：学頭地区の方は利用されていますか？

回答：2名の方に利用して頂いています。

(有識者様より)

意見：荘原地区の30名は荘原地区の中心部とこのあたり（上庄原地区）の方ですか？

回答：そうですね。

2) 行事等報告 (R4.9月～R5.2月末、デイサービス・小規模合同)

①消防総合訓練（消火訓練・通報訓練・避難訓練） 12/12（月）9時20分～9時45分

職員：デイ8名（不参加0名）、小規模3名（不参加2名） 計11名

利用者数：デイ12名（不参加0名）、小規模9名（不参加0名） 計21名

(MILKより) 2年ぶりの消防総合訓練を実施し消防署からの指摘もいただきました。

○消防署指摘事項

- ①火災通報システムを使用しての訓練をされた方が良かったのでは。（火災報知器のベルがなると消防署に自動的に通報されるので、このシステムの操作に慣れられた方が良い。操作方法を職員に周知する。）
- ②日頃から利用者人数、職員数の確認が出来るようにしておく事。避難先の確認（場所）をしておく。（消防に連絡した時に消防署から利用者数や職員数を聞くので即答できるように把握しておく）（職員はどういう風に利用者を避難誘導するか、避難経路を常時把握しておく事）
- ③消火器を持参しての火災現場（初期消火2人）に向かったことは良かったが、人数的にはもっと多くてもよかった。（火元近くの消火器をもって火災現場に行く。）
- ④初動（出火場所の把握、通報・連絡に2分）に時間がかかっている。携帯電話を使用しても良い。
- ⑤初期消火後の火災現場の扉が閉まっていなかった。また、火災場所の部屋の前を通過して各部屋の中を確認されていた。出来るだけ火災現場の前を通過しないようにすると同時に、他の職員が再度の点検、確認をしないような方法を、例えば「確認をした」という目印をあらかじめ作成しておく等。
- ⑥トイレの中、個室等のチェックを行う。
- ⑦放送で火災場所を利用者、職員に伝えていたか。⇒伝えた。
- ⑧二次避難場所を設定・確保しておく必要がある。

○職員による水消火器を使用して訓練実施

- ①日頃より消火器の場所、使用可能期間、取扱手順の把握をしておく。
- ②消防避難訓練の実施について（毎月お菓子の日の午前・午後実施、時間は状況により決定）
9/25（日）、10/25（火）、11/25（金）、12/25（日）、2/25（土）
※マンツーマンで避難誘導。室内の点検（窓閉め、トイレ内、ガス等）。点呼による避難者確認。
- ③緊急時対応マニュアル（個別）による研修（施設内で実施）
2/16（木）、2/17（金）9:00～9:30 出席者11名（デイ9名、小規模2名）

(MILKより) 緊急時の対応マニュアルを作成しているのでマニュアルを用いて、この時はどのような対応をするのか、対応の方法について研修をさせていただきました。デイは全職員が参加し研修を受けています。

- ④特殊詐欺被害の状況と対策の講習会（斐川交番2人） 12/2（金）10:30～11:30
・利用者（デイ8人・小規模0人）、職員・管理者等（7人）が参加
・パンフレットによる特殊詐欺の被害状況と対策について説明。

- ⑤荘原保育園児へのクリスマスプレゼント（2名で訪問） 12/23（金）10:00～
小規模職員2人、利用者夫妻2人

(MILKより) 荘原保育園にクリスマスプレゼントを提供。小規模職員と利用者夫妻で訪問し大変喜んでいただきました。

- ⑥ドライブコンテストの実施（参加者：富 36 人、新 30 人、22 チーム 7/11～12/31）
・チームの内 15 チームが表彰され、7 チームは交通違反（一時停止・速度超過等）で表彰なし。

- ⑦2/3（金）節分の日「恵方巻」の提供（午前・午後）
・利用者から好評を頂いた。

（地域住民の代表者様より）

意見：ドライブコンテストについてですが、7 チームの交通違反は私的時の交通違反それとも業務上での交通違反ですか？

回答：私的なものと業務上のものすべてです。

意見：業務上の交通違反もあったということですか？

回答：そこまでは把握しておりません。どのチームが違反があったということは分かりますが誰が違反したかは報告を受けておりませんのでわかりません。

意見：誰が把握しておられますか？

回答：警察から書類が届き、社長が確認されています。

意見：警察が主催のコンテストですか？

回答：交通安全協会がやっておられます。

（有識者様より）

意見：初動時に時間がかかっている。携帯電話を使用しても良いのではというのは消防署が提案されたのですか？

回答：そうですね。自動通報装置を切つての訓練をしたため、こちらからベルを鳴らして火事かどうか確認してから通報するようにしたので初動に時間がかかっていました。実際の場合だと自動通報装置を使うので、訓練時に使いなれた方がタイムロスを防ぐことにもなると言われました。

（高齢者あんしん支援センター様より）

意見：今日された避難訓練は概ね 100 点であったということですか？

回答：そうですね。

（高齢者あんしん支援センター様より）

意見：毎月 25 日の訓練を 3 月は 15 日にされたということですか？

回答：総合訓練として 15 日に行いました。今月も避難訓練として 25 日に行う予定です。

3) ヒヤリハット、事故報告事例について（R4.9～R5.2 月末）

①デイの昼食時の誤嚥について（12/12（月）・90歳・女性・要介護1・2本杖）

内容）：側で見守りをしていた職員が沢山の量を口の中に入れていた様子から声掛けしようとした時、急に苦しそうにされ同時に椅子から落ちられた。意識がなく、呼吸が停止したような状態となられた。

対応）：①口の中に指を入れかき出そうとする一方、もう一人の職員（小規模）がスプーンにガーゼを巻いて口の中に入れた。少しずつかき出しカテーテルを挿入し吸引を行う。吸引と同時に胸部圧迫を行う。

②救急車の手配をするよう指示。もう一人の職員が救急車の要請と状況説明を行う。徳洲会病院に搬送。

③家族に電話で状況説明を行い救急車で病院へ搬送する旨を伝える。

④市役所高齢者福祉課に当日に事故の概況報告を行う。ケアマネジャーにも状況報告を行う。

原因）：本人が食事を一気に食べられ、呑み込みが出来ない状態になるまで見守りスタッフが気付かなかった事。

対策）：①口の中に沢山入れる方については、口元が見える場所で見守りを行い素早い声掛け、対応ができるようにする。

②食べられる速度が早い方に対しては、一気に口の中に入れてられないよう、ゆっくり食事してもらうよう食事前に注意喚起を行う。

③吸引器は誤嚥があった時にすぐに吸引できるように電源を入れ、職員が何処にあるか把握しておく。

④不測の事態に遭遇した時は、他の利用者の事もあるが大きな声で他の職員に知らせ、協力を得る。（消防署、家族への連絡等）

⑤緊急時対応の研修の計画。

②県道十六島直江停車場線の直江の旧道の交差点での接触事故（1/23（月）14時14分頃）

内容）：国道九号線の交差点（北から南へ直進）を通過して、県道十六島直江停車場線の直江の旧道の交差点にさしかかった際、西から対向車が左折（九号線に向けて）してきたのが見えた。相手方は自車の車を見て進入直後に一旦停車したので、当方の車に気が付いたと思いそのまま直進し、一旦停止線で停止する。

その後、停車していた対向車が発進したと思われ、センターラインはないものの、充分に曲がり切れる道幅はあったように感じていたが、対向車の運転席側（右前）のバンパーが自車の運転席後ろ（右側）のバンパーに接触し、バンパー部分が破損した。

原因）：交差点にさしかかる前に対向車が左折したのが分かったが、相手方が自車の車を見て進入直後に一旦停車したので、当方の車に気が付いたと思いそのまま直進したが、相手方車両が大回りでの左折となったこと。

対策）：国道九号線の交差点を直進（北から南）せずに、左折（東へ）して九号線を行けば事故に遭わなかったと思われるので（直江の旧道の交差点は当方の車両側に一旦停止線がある）出来るだけ大通りを通行する。相手車両が自車に向かってくる事もあるかもしれないと思い、そのまま直進せずにその場所で一旦停車すること（譲る気持ちで運転する。）考慮することも必要。

（地域住民の代表者様）

意見：昨年発生した労働災害ですが休業が4日以上で全産業は令和3年が819件、令和4年2260件発生している。原因はコロナで休まれた方がほとんどでした。福祉施設関係だと、令和3年だと116名。令和4年は769名（653名コロナ）という状況でした。出雲市管内だと令和3年は46件、令和4年は270件で224件増加した。おそらくコロナと業務上の腰痛のではないかと思っている。件数が増加しているので気を付けて頂ければと思います。

回答：コロナで休まれる方はいました。ここでは発生しておりませんが、他のデイでコロナに感染をされその後こちらを利用された為、緊急で帰宅して頂いたことはありました。引き続きマスク着用と消毒の徹底をしていきたいと思えます。

また、ご自宅で帰られて転倒され骨折入院され通えなくなったというケースもありますので、見守りをしっかりと行い事故にならないように気を付けております。しかし、こちらで転倒されて3か月入院になったケースがありますので見守りが不十分あったと反省させて頂き、それ以降は、ここでの転倒事故は起きておりません。今回の誤嚥については命にかかわる事ですので速やかに市役所の方に報告をさせて頂きました。

4) 意見交換

（地域住民の代表者様）

意見：ヒヤリハットの事故報告がありましたが、前回マニュアル作成されたという報告があったが、誤嚥については緊急時対応マニュアルの中にマニュアルが決まっていますか？

回答：具体的には誤嚥ということでは書いていませんが飲み込みされた時の対応としてあげています。1人で対応すると間違いがあったりパニックになるので大声を出して仲間を集めるその中で指示を出しながらアプローチして頂くことが大事ということをもとめさせていただいています。

（地域住民の代表者様）

意見：詰まったもの出し方を細かく書いてあるのですか？

回答：細かくは書いてありません。今回の誤嚥対応は指を入れると嘔まれますので看護師の対応でガーゼにスプーンを巻いて入れてかきだし吸引しました。直ぐ対応しなければならぬ場面もありますので、本来であればもう少しマニュアルに細かく書かなければならないと思いますがそこまでは出来ていません。マニュアルは作ったから終わりではなく不足があればその都度修正していきたいと思えます。

（地域住民の代表者様より）

意見：7つマニュアルがあるように書いてあるが、これを全て覚えるのは大変な事だと思います。

回答：マニュアルは作っただけではいけません、時間が取れず勉強会が出来ていないので何がポイントであるか分かるようにまとめて職員が理解できればと思います。

（有識者様より）

意見：高齢者福祉課はマニュアルの指導などしておられますか？

(高齢者福祉課様より)

回答：マニュアルを作成しているかどうかの確認はありますが中身までは確認しておりません。

(地域住民の代表者様より)

意見：職員の研修の中でマニュアルを頭に入れて教育しないと、マニュアルがあっても何もしなかったというのはまずいと思います。書類をそろえておけばいいという話ではないと思います。

回答：確かに言われるとおりだと思います。マニュアルが出来て安心したということではないと思います。出来る所から職員に研修していききたいと思います。また、そういった報告が出来ればと思います。

5) その他

①消防総合訓練実施（消火訓練・通報訓練・避難訓練）R5.3/15（水）9時20分～9時40分

②各種マニュアルの手直し終了

③総合事業の事業所評価加算の5年度の算定について（1,200円/月・一人当たり）

<算定のための基準>

・利用実人員数が10人以上であること。

・評価対象期間における選択的サービスの利用実人員数を当該事業所の利用実人員数で除した数が0.6以上であること。※(評価対象期間(各年1月1日から12月31日))

・評価基準値が0.7以上であること。

※評価基準値＝(要支援度の維持者数+改善者数×2) / (評価対象期間内に選択的サービスを3月以上利用し、その後に更新・変更認定を受けた者の数)

(MILKより)

令和4年度は基準が満たせず算定が出来ませんでした。令和5年度は基準が満たせれば事業所評価加算を算定していきたいと思っています。

(MILKより)

意見：事業所評価加算はどうなっているのか？

(高齢者福祉課様より)

回答：国保連合会からデータが届くと思うので今準備している所です。近日中の所でUPされると思います。

(MILKより)

意見：どの方が対象でどうなるかが分からないとこちらも評価が出来ないのでデータがまとまったら教えて頂くとこちらも助かります。

④デイサービスMILK新の令和5年度のスローガン

昨年度に引き続き「目配り・気配り・心配り」

(MILKより) 十分にできてなかったため引き続き令和5年度のスローガンとしてやっていきたいと思っています。

次回はR5.9月 日（ ）開催を行う。